

## 当院において膵がんの治療を受けられた方およびそのご家族の方へ —「浸潤性膵管癌の膵外神経叢浸潤についての造影CTによる検討」へご協力をお願い—

研究機関名	岡山大学病院		
研究機関長	前田 嘉信		
研究責任者	岡山大学病院 放射線科	助教	浅野 雄大
研究分担者	岡山大学学術研究院医歯薬学域 放射線医学	教授	平木 隆夫
	岡山大学病院 放射線科	助教	児島 克英
	岡山大学病院 放射線科	助教	檜垣 文代

### 1) 研究の背景および目的

膵がんは発生しても症状を生じにくく、発見時には進行した状態で見つかる場合も多いです。日本における膵がんで亡くなる方は増加傾向にあります。膵がんでは膵外神経叢浸潤（すいがいしんけいそうしんじゅん）という膵臓のまわりの細かな神経に沿って増大していくということがわかっています。しかし、CTでの見え方での特徴についてはあまりわかりません。この研究の目的は膵がんのCTでの膵外神経叢浸潤の見え方を解明することです。

### 2) 研究対象者

2017年2月1日～2019年1月31日の間に岡山大学病院において膵がんの治療を受けて、浸潤性膵管癌と診断された方約70名を研究対象とします。

### 3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2025年12月31日

### 4) 研究方法

当院において膵がんの治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに浸潤性膵管癌と診断された方のデータを選び、膵外神経叢浸潤に関する術前CT画像の分析を行い、CTでは膵外神経叢の特徴について調べます。

### 5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、家族歴、既往歴、薬歴
- ・ 診察所見、治療内容、血液や病理の検査データ、CT画像

### 6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院放射線科医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

### 7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の

資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

#### <問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 放射線科

氏名：浅野雄大

電話：086-235-7313（平日：9時～17時）